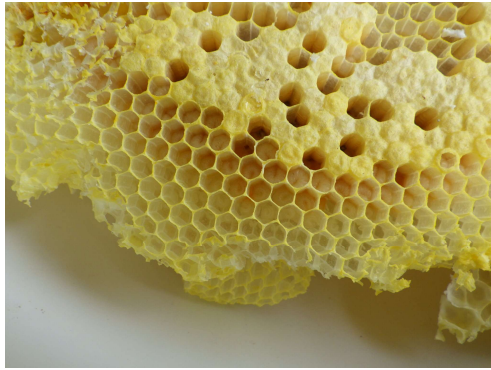


令和6年度 ミツバチ活用マッチング事業 ミツバチに関するプチ情報

蜜が取れない間、ミツバチは巣に貯めた蜜や花粉を食べて過ごしているそうです。

左の写真は、ニホンミツバチの巣の一部です。蜜を入れた六角形のハニカム内に蜜を入れ、蓋をして貯蔵しているそうです。

右の写真は、ニホンミツバチの巣の断面で、蜜が詰まっています。



ニホンミツバチの巣の写真。
蓋は蜜でできている。



ニホンミツバチの巣の断面の写真。
ハニカム内が蜜で満たされている。

晴れた暖かい日に、咲き始めたツバキに来たミツバチを見つけました。ツバキは冬の貴重な蜜源なんですね。



ツバキの花から採蜜しているミツバチ

ミツバチにとって冬は巣ごもりの季節です。寒い日は写真のように巣箱の中で集まって寒さをしのいでいるそうです。これから寒い季節を乗り越えて、暖かくなってまた元気に会えるのが楽しみです。



巣箱の中のニホンミツバチ

環境フェスティバルふくおか 2024 のツアーの1つであるNPO法人博多ミツバチプロジェクトの採蜜体験ツアーを取材しました。

見学前は緊張した表情の見学者が多かったものの、ニホンミツバチが多く飛び交う中、見学者から様々な質問も飛び交い、見学の後には「見学前は怖かったけど、巣箱の中を見ることができて嬉しい」「ニホンミツバチはかわいい」などの感想を聞くことができました。

(参考) [NPO法人博多ミツバチプロジェクト公式ホームページ](#)



養蜂箱を囲み、動画を撮る見学者

10月26日土曜日及び10月27日日曜日開催の「環境フェスティバルふくおか2024（参加無料）」に、NPO法人博多ミツバチプロジェクトが出展されます！

出展ブースにて、NPO法人博多ミツバチプロジェクトのお話を直接伺うことができる、貴重な機会となっておりますので、ふるってご参加ください！



環境フェスティバルふくおか
2024 のチラシ

ニホンミツバチが集まり身体を震わせ、自分の体の2倍以上もあるスズメバチに立ち向かっている姿を見つけました。これは振身行動と呼ぶそうです。協力して生き抜いている姿に感動しました。

城南区 facebook（ニッコりん情報）において動画を公開しています。

(参考) ニッコりん情報：城南区 Facebook



集団でスズメバチに挑む
ニホンミツバチの様子

暑くなるとニホンミツバチはよく水を飲むそうです。また、巣箱内の温度を下げる際に、水の気化熱を利用するそうです。暑くなると水を飲んだり打ち水をしたりと、私たちと似ていますね。

城南区 facebook（ニッコりん情報）において動画を公開しています。

（参考）ニッコりん情報：城南区 Facebook



水を飲んでいるミツバチの姿

ミツバチが好む花を「蜜源（みつげん）」と呼ぶそうです。城南区内の蜜源を探していたら、アリッサムの花から蜜や花粉を集めるミツバチを見つけました。身近に咲いている花も蜜源かもしれませんね。

城南区 facebook（ニッコりん情報）において動画を公開しています。

（参考）ニッコりん情報：城南区 Facebook



アリッサムとミツバチ

一度外した巣版は、巣として再利用出来ないそうですが、群を保護するために外した巣版から生まれたミツバチが無事に新しい巣に合流できたとNPO法人博多ミツバチプロジェクトから連絡がありました。1匹でも多くのミツバチを保護してもらえています。

城南区 facebook（ニッコりん情報）において動画を公開しています。

（参考）ニッコりん情報：城南区 Facebook



保護した巣板から生まれたミツバチ

NPO法人博多ミツバチプロジェクトでは、福岡市内産間伐材をミツバチの巣箱に活用しているそうです。ニホンミツバチを育てることが市内の森林保全にも一役買っているんですね。



福岡市内産間伐材を使用した
ニホンミツバチの巣箱